

# 緊急配送の実態に関するサンプル調査結果

## 【調査の概要】

- 緊急配送について実態を把握するために調査を実施。
- 調査対象期間：平成30年7月1日から31日まで
- 調査対象：卸売業者の支店・営業所（以下「支店」）16カ所  
（「医療用医薬品の流通改善に関する懇談会」の各ワーキングチームに参画する卸売業者8社の支店から2カ所ずつ（都市部と地方部の各1カ所）を選定）
- ※ 「急配」を、取引先の医療機関・保険薬局との間で契約又は合意されている通常の配送条件によらず、取引先から緊急の依頼を受けて行う配送と定義し、その実態について調査を実施。
- 調査項目（急配1件についてそれぞれ下記を調査）
  - ・ 支店における調査月の総販売額（薬価ベース）
  - ・ 対応日（月日、営業時間内か否か）
  - ・ 配送先（名称、属性）
  - ・ 書面契約の有無
  - ・ 急配した品目等
  - ・ 急配のための別途の体制の有無

1

## I. 調査結果

### 1. 急配の割合・頻度

○調査対象期間における総販売額に占める急配による販売額の割合は、以下のとおりであった。

区分	総販売額（薬価ベース） ①	急配による販売額（薬価ベース） ②	急配の割合 ②/①*100
都市部	9,148百万円	365百万円	4.0%
地方部	3,627百万円	87百万円	2.4%
全体	12,776百万円	452百万円	3.5%

○調査対象期間における総配送先軒数に占める急配先軒数の割合は、以下のとおりであった。

配送先区分	総配送回数			急配回数			急配の割合		
	都市部 ①	地方部 ②	計 ③	都市部 ④	地方部 ⑤	計 ⑥	都市部 ④/①*100	地方部 ⑤/②*100	計 ⑥/③*100
200床以上病院	3,107軒	1,004軒	4,111軒	283軒	113軒	396軒	9.1%	11.3%	9.6%
200床未満病院	1,544軒	539軒	2,083軒	274軒	111軒	385軒	17.7%	20.6%	18.5%
診療所	50,595軒	15,681軒	66,276軒	1,072軒	206軒	1,278軒	2.1%	1.3%	1.9%
20店舗以上薬局	11,785軒	3,209軒	14,994軒	4,271軒	773軒	5,044軒	36.2%	24.1%	33.6%
その他薬局	26,386軒	8,811軒	35,197軒	5,022軒	2,053軒	7,075軒	19.0%	23.3%	20.1%
合計	104,679軒	36,335軒	141,014軒	10,922軒	3,256軒	14,178軒	10.4%	9.0%	10.1%

2

※ 1支店当たりの1日の平均急配先軒数

配送先区分	1支店あたり急配先軒数（月間）			1支店当たりの急配先軒数（1日）		
	都市部	地方部	計	都市部	地方部	計
200床以上病院	35軒	14軒	25軒	1.4軒	0.7軒	1.3軒
200床未満病院	34軒	14軒	24軒	1.7軒	0.7軒	1.2軒
診療所	134軒	26軒	80軒	6.7軒	1.3軒	4.0軒
20店舗以上薬局	534軒	96軒	315軒	26.7軒	4.8軒	15.8軒
その他薬局	628軒	257軒	442軒	31.4軒	12.9軒	22.1軒
合計	1,365軒	407軒	886軒	68.3軒	20.3軒	44.3軒

注) 1営業所当たりの急配回数（1日）は、調査対象月における営業日を20日として算出。

○全取引先に占める急配先（調査対象月に1回でも急配を行った取引先）の割合は、以下のとおりであった。

配送先区分	取引先の総軒数			急配先の軒数			急配先の軒数の割合		
	都市部 ①	地方部 ②	計 ③	都市部 ④	地方部 ⑤	計 ⑥	都市部 ④/①*100	地方部 ⑤/②*100	計 ⑥/③*100
200床以上病院	222軒	96軒	318軒	44軒	29軒	73軒	19.8%	30.2%	23.0%
200床未満病院	105軒	72軒	177軒	88軒	48軒	136軒	83.8%	66.7%	76.8%
診療所	4,102軒	1,601軒	5,703軒	496軒	111軒	607軒	12.1%	6.9%	10.6%
20店舗以上薬局	643軒	336軒	979軒	524軒	145軒	669軒	81.5%	43.2%	68.3%
その他薬局	1,822軒	788軒	2,610軒	808軒	356軒	1,164軒	44.3%	45.2%	44.6%
合計	6,894軒	2,893軒	9,787軒	1,960軒	689軒	2,649軒	28.4%	23.8%	27.1%

3

## 2. 配送条件についての契約状況

○急配先（調査対象期間に1回でも急配を行った取引先）との間における配送条件に係る契約等の締結状況は、以下のとおりであった。

区分	書面での契約率
通常配送	0/2,649軒 (0%)
緊急配送	0/2,649軒 (0%)

## 3. カテゴリー別の急配状況

○急配した品目について、カテゴリー別に見た場合の内訳は次のとおりであった。

	都市部	地方部	合計
新薬創出加算品	2,379品目 (10.4%)	668品目 (10.4%)	3,047品目 (10.4%)
特許品・その他	8,437品目 (36.8%)	2,102品目 (32.8%)	10,539品目 (35.9%)
長期収載品	5,833品目 (25.4%)	1,955品目 (30.5%)	7,788品目 (26.6%)
後発医薬品	6,274品目 (27.4%)	1,677品目 (26.2%)	7,951品目 (27.1%)
合計	22,923品目 (100%)	6,402品目 (100%)	29,325品目 (100%)

4

#### 4. 急配した品目

○調査対象期間に急配した品目のうち、取引の当事者間で定期的に受発注・配送されていた品目の割合は、以下のとおりであった。

施設区分	急配した品目数					
	都市部	うち定期配送品目	地方部	うち定期配送品目	合計	うち定期配送品目
200床以上病院	454	385(84.8%)	199	160(80.4%)	653	545(83.5%)
200床未満病院	558	432(77.4%)	285	228(80.0%)	843	660(78.3%)
診療所	2,894	2,176(75.2%)	348	221(63.5%)	3,242	2,397(73.9%)
20店舗以上薬局	7,282	4,251(58.4%)	1,056	410(38.8%)	8,338	4,661(55.9%)
その他薬局	11,735	7,796(66.4%)	4,514	3,117(69.1%)	16,249	10,913(67.25%)
合計	22,923	15,040(65.6%)	6,402	4,136(65.4%)	29,325	19,176(65.4%)

# 医療用医薬品の川下取引における緊急配送の実態に関するサンプル調査 (実施要領)

## 1. 調査目的

- ・ スペシャルティ医薬品等の上市や後発医薬品の使用促進など、医療機関・保険薬局の取扱品目は多種に及び、在庫管理等の観点から急配件数が増加しているとの販売側からの意見について、その実態を調査し、今後の医薬品流通の改善に資することを目的とする。

## 2. 調査方法

- ・ 被調査先は、川上・川下・後発各 WT に参画する卸売業者 8 社の支店・営業所から 2 か所を選定する。選定にあたっては、都市部と地方部を各 1 か所とする。
- ・ 調査期間は、平成 30 年 7 月 1 日から平成 30 年 7 月 31 日までとする。
- ・ 調査は被調査先において、調査要領に基づき自計で行うものとする。

## 3. 定義

- ・ 「急配」とは、被調査先と取引先医療機関・保険薬局との間で締結された書面契約（被調査先の本社と取引先（その本部を含む）との契約を含む）又は商慣行上の合意事項による配送条件（事前に計画されたルート配送など）以外に取引先医療機関・保険薬局からの依頼に基づき緊急に依頼される配送をいう。

## 4. 調査項目

（急配 1 件について、以下の項目を集計）

- ・ 支店・営業所における調査月の総販売額（薬価ベース）
- ・ 対応日（月日、支店・営業所における営業時間内又は営業時間外）
- ・ 配送先（名称、属性（200 床以上病院などの種別））
- ・ 書面契約の有無
- ・ 急配した品目等（品目、カテゴリー、数量、薬価など）
- ・ 急配のための別途の体制の有無

（通常配送について）

- ・ 支店・営業所における調査月時の取引先軒数
- ・ 配送先数